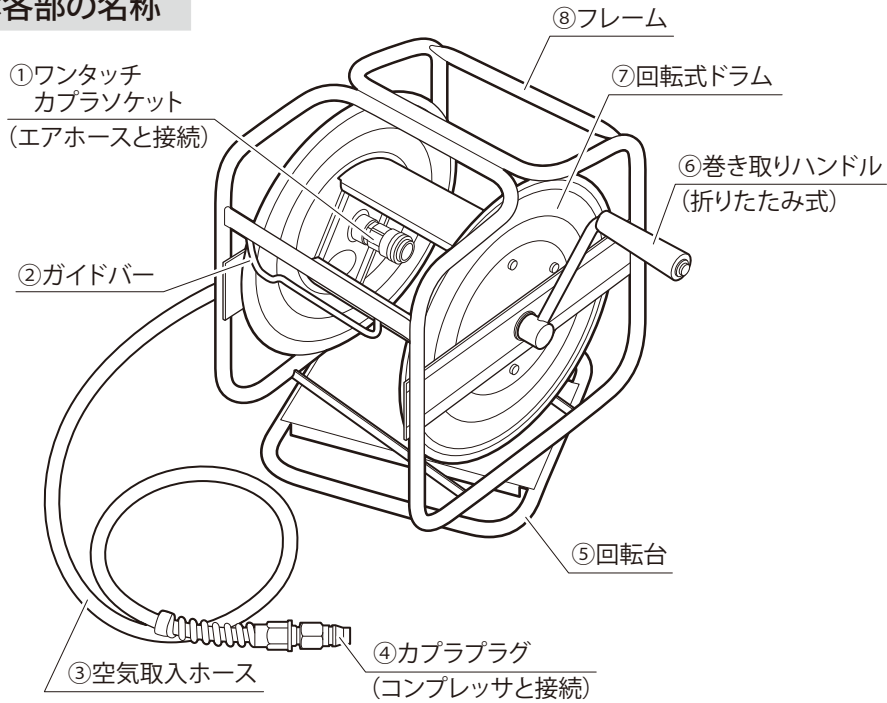


回転台付 エアホース用リール

取扱説明書

本体各部の名称



- ①ワンタッチカプラソケット…お手持ちのエアホースのカプラプラグと接続します。ワンタッチ式で簡単に接続が可能です。
- ②ガイドバー …… エアホースを通すことで、絡まりを防ぎます。
- ③空気取入ホース …… コンプレッサからエアを供給します。
- ④カプラプラグ …… お手持ちのコンプレッサのカプラソケットと接続します。
- ⑤回転台 …… ドラムが360°回転し、自由な方向からホースを引き出せます。
- ⑥巻き取りハンドル… 回転式ドラムを回すハンドルです。折りたたむことができます。
- ⑦回転式ドラム …… エアホースを巻き取るドラムです。
- ⑧フレーム …… 製品全体を支えるフレームです。

外観、仕様などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

発売元 **株式会社パオック**

この度はPA[®]CK 回転台付エアホース用リールをお買い求めいただき、ありがとうございます。いつまでも安全にお使いいただくため、ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、取扱上の注意事項、本機の特長、能力、使い方などを十分理解された上でご使用くださいますようお願い申し上げます。

用途・特長

- お手持ちのエアホースの片付け、収納が楽になります。
- ワンタッチカプラソケット接続で、簡単にホースの脱着（交換）ができます。
- 回転台付でホースを引っ張った時の転倒を防止します。

仕様

品番	KHR-1
巻き取り可能なエアホース長さ	内径6.5×外径10mmホース……最長30m 内径8.5×外径12.5mmホース…最長20m
適用流体	エア（圧縮空気）
最高使用圧力	1.0 MPa
常用圧力	0.8 MPa
使用温度範囲	0～40℃
材質	ドラム・フレーム… スチール 空気取入ホース …… PVC
空気取入ホースサイズ	内径8mm × 外径12.5mm × 長さ 約110cm
サイズ	約幅240 × 奥行280 × 高さ320 mm
質量	約4kg

※エアホースは付属していません。別途お買い求めの上、本製品に取り付けてご使用ください。

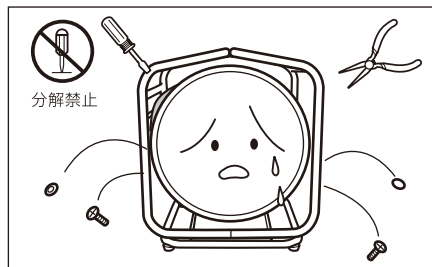
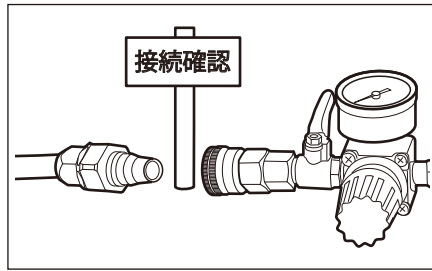
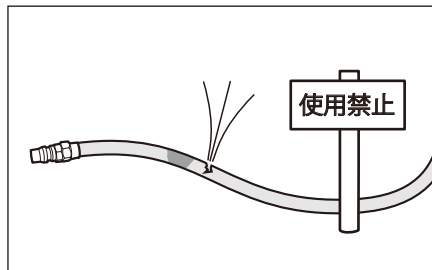
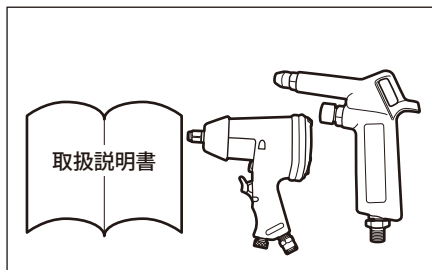
安全にご使用いただくために

3

安全作業上、事故を未然に防ぐため、次に述べる注意事項をよくお読みの上、指示に従ってください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

1. エアツールを使用する際には、各エアツールの取扱説明書をよく読み、理解してから作業を行ってください。
各エアツールによって取り扱いが異なります。取り扱いを誤ると、思わぬ事故やけがの原因となり危険です。
2. エアホースの切断・加工はしないでください。
エアホースの切断・加工は危険ですので絶対にしないでください。
3. エアホースにひび割れ、変色、穴あき等の異常が見つかった場合は、使用しないでください。
そのまま使用すると、故障や事故の原因になります。
4. 各部のボルトやねじにゆるみがないことを確認してください。
故障や事故の原因になります。
5. 空気以外の流体は流さないでください。
6. エアコンプレッサやエアツール等の接続を確認してください。
確実に接続していないと使用中にエアホースが抜けたり、けがや事故の原因になり、危険です。
7. エアホースに圧縮空気が入った状態で、接続を解除しないでください。
残圧による反動で思わぬ事故やけがの原因になります。
8. 使用中、移動時にエアホースを強く引っ張らないでください。
強く引っ張るとエアホースが抜けたり、破損することがあり、危険です。
9. 指定用途以外、及び能力を超えての使用はしないでください。
10. 本機を分解、改造しないでください。
事故やけが、故障の原因となります。

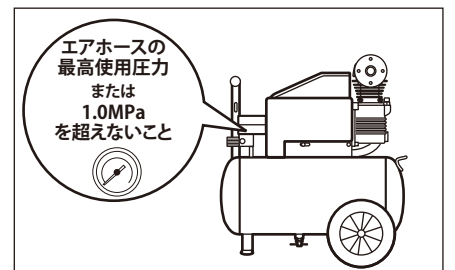
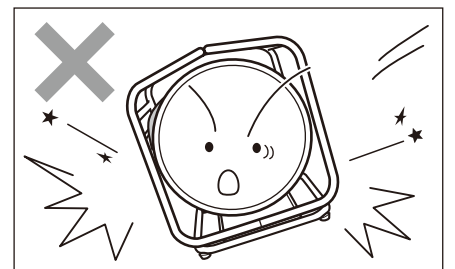


安全にご使用いただくために

4

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

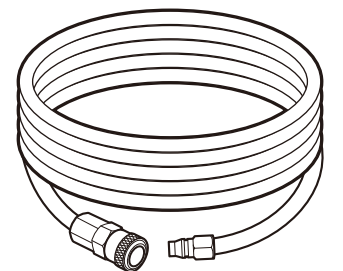
- 1 1. 大切に取り扱いってください。
落としたり、投げたりの極端な衝撃を与えると、故障の原因となるだけでなく、思わぬ事故の原因となり、危険です。
- 1 2. 取り付けるエアホースの最高使用圧力以下でご使用ください。
- 1 3. 最高使用圧力1.0MPaを超えて使用しないでください。
本製品のカプラソケットの最高使用圧力は1.0MPaです。取り付けるエアホースの最高使用圧力が高い場合でも、1.0MPaを超えないよう注意してください。
- 1 4. エアホースは余裕を持った長さでご使用ください。
余裕の無い長さでの使用は、作業周辺のものや接続機器などの転倒の原因になります。
- 1 5. 使用後や、保管・点検の際は、必ずコンプレッサやエアツール等との接続を外してください。



ご使用前の準備

- ①市販のエアホースをご用意ください。

【適用エアホースサイズ】
 ●内径6.5×外径10mmホース……最長30m
 ●内径8.5×外径12.5mmホース…最長20m
 ※カプラプラグが付いていること

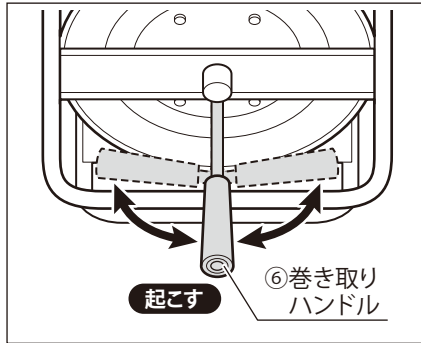


- ②広い場所でエアホースを真っ直ぐに伸ばし、ねじれやたわみ、巻きぐせの無い状態にしてください。

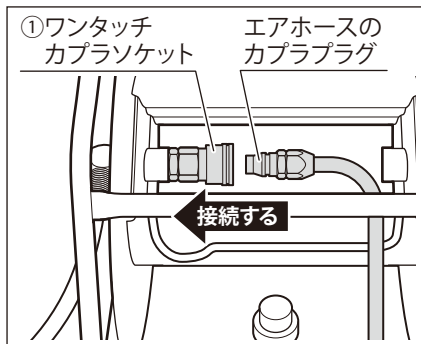
注意
 真っ直ぐに伸ばしていないホースを巻き取らないでください。ホースの損傷や本体の破損の原因となります。

ドラムへの接続、エアホースの巻き取り方法

①巻き取りハンドルを起こし、ドラムを回せる状態にしてください。

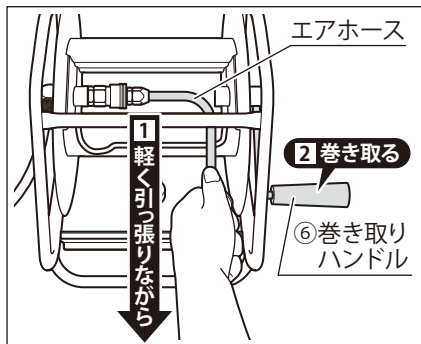


②エアホースのカプラプラグを、ドラムのワンタッチカプラソケットに差し込みます。“カチン”と音がするまで奥へ差し込み、確実に接続してください。



⚠注意
確実に接続していないと接続部から外れ、思わぬ事故やけがの原因となり危険です。

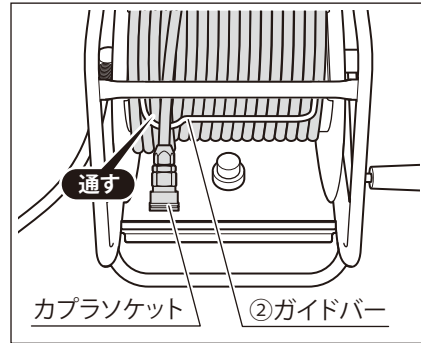
③エアホースを右側に寄せ、最初は軽く引っ張りながらゆっくりと巻き取りハンドルを回し、巻き始めてください。



※巻き取り時は同じ所で巻き続けず、左右にバランスよく巻き取ってください。

ドラムへの接続、エアホースの巻き取り方法 (つづき)

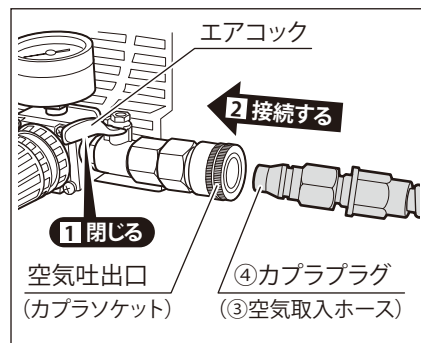
④エアホースを全て巻き終わったら、エアホースのカプラソケットをガイドバーに通してください。



※ガイドバーの左側の大きく開いている箇所から、カプラソケットを通すことができます。

コンプレッサとの接続方法

①コンプレッサの空気吐出口のエアコックが閉じていることを確認してください。



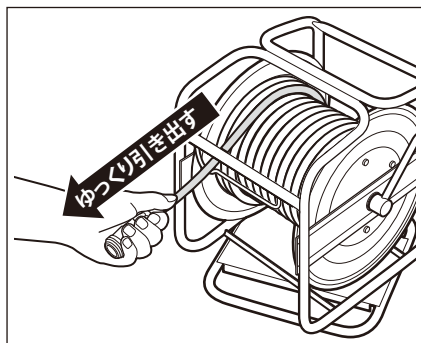
⚠注意
接続は空気圧がかかっていない状態で行うようにしてください。空気圧がかかっていると、接続時に反動が起こり、思わぬ事故やけがの原因となり危険です。

②空気取入ホースのカプラプラグをコンプレッサのカプラソケットに差し込みます。奥まで確実に接続し、引いてみて外れないことを確認してください。

⚠注意
確実に接続していないと接続部から外れ、思わぬ事故やけがの原因となり危険です。

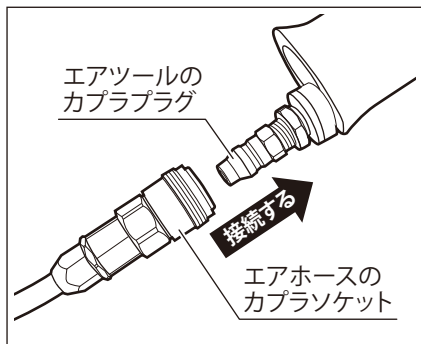
エアツール (エアダスタ、エアインパクトレンチなど) との接続方法

①エアホースを任意の長さになるまで、ゆっくりと引き出してください。



⚠注意
エアホースは強く引っ張ったり、早く引き出したりしないでください。ホースのねじれや破損の原因となります。

②エアツール (エアダスタやエアインパクトレンチなど) のカプラプラグに、エアホースのカプラソケットを差し込みます。奥まで確実に接続し、引いてみて外れないことを確認してください。



⚠注意
・接続は空気圧がかかっていない状態で行うようにしてください。空気圧がかかっていると、接続時に反動が起こり、思わぬ事故やけがの原因となり危険です。
・確実に接続していないと接続部から外れ、思わぬ事故やけがの原因となり危険です。

⚠警告 お手入れや点検の場合は、必ずエアコンプレッサやエアツール等の接続を解除してください。事故やけがの原因となります。

- 作業後のお手入れ
エアホース用リールの性能を維持するために、清掃・点検を定期的に行ってください。清掃には有機溶剤を使用しないでください。
- 各部の点検
・各部取り付けねじは定期的に点検し、ゆるんでいたら締め直してください。そのまま使用すると危険です。
・エアホースにひび割れ、変色、穴あき等の異常が無いか、定期的に点検してください。異常が見つかった場合は、使用しないでください。
- 水抜き
使用后、エアホース内に水が溜まった時は水抜きを行ってください。
- 保管について
使用しない場合はきちんと保管してください。また、次の場所には保管しないでください。



修理の際は

- 正常に作動しない場合や、不明な点がございましたらお買い上げの販売店または、発売元までご連絡ください。
- お問い合わせや、ご連絡が無いまま直接発売元に修理品などを送付されても処理、対応ができない場合がありますのでご了承ください。